

漢字ドリル

中学 **1** 年生

第5巻

練習＋問題

読みを広げる、毎日の一冊。

新しく学ぶ漢字の読み



36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

齊魔胴履核挟

練習してから、問題に挑戦

本文 30ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com



ちゅう15かん たんい1れんしゅう (1)

なまえ



魔

魔

音

マ

・魔法 まほう
・邪魔 じゃま
・病魔 びょうま

部首 魔 おに 21画

斉

斉

音

セイ

・斉射 せいしゃ
・斉唱 せいしょう
・一斉 いっせい

部首 斉 せい 8画

履

履

訓

はく

音

リ

・履修 りしゅう
・履歴 りれき
・履く はく

部首 履 しかばね 15画

胴

胴

音

ドウ

・胴体 どうたい
・胴上げ どうあげ
・胴 どう

部首 胴 にくづき 10画



ちゅう15かん たんい1れんしゅう (2)

なまえ



挟

訓

はさ
(まる)はさ
(む)・挟まる
はさまる・挟む
はさむ

部首

挟

てへん

9画

核

音

カク

・中核
ちゅうかく・核心
かくしん・原子核
げんしかく

部首

核

きへん

10画

躍

訓

おど
(る)

音

ヤク

・飛躍
ひやく・活躍
かつやく・躍る
おどる

部首

躍

あしへん

21画

廊

音

ロウ

・画廊
がろう・回廊
かいろう・廊下
ろうか

部首

廊

まだれ

12画

ちゅう15かんたんい1A

なまえ



/ 16

6

読みかけの本にしおりを挟む

5

原子核の構造を研究する

4

着物に合わせて足袋を履く

3

剣道で相手の胴を打つ

2

晩年の画家は病魔と闘い続けた

1

警報が出て一斉に下校する

12

メールを一斉送信する

11

校舎と体育館を渡り廊下でつなぐ

10

歯に魚の小骨が挟まる

9

通話の履歴を確認する

8

合格の知らせに胸が躍る

7

放課後に廊下をモップでふく

16

ゲーテの劇で主人公が悪魔と契約を結ぶ

15

春の野山に生命が躍動する

14

ヘビは胴体をくねらせて進む

13

国際社会が核実験の停止を求める

ちゅう15かんたんい1B

なまえ



/ 16

6

読みかけの本にしおりを挟む

5

原子核の構造を研究する

4

着物に合わせて足袋を履く

3

剣道で相手の胴を打つ

2

晩年の画家は病魔と闘い続けた

1

警報が出て一斉に下校する

12

メールを一斉送信する

11

校舎と体育館を渡り廊下でつなぐ

10

歯に魚の小骨が挟まる

9

通話の履歴を確認する

8

合格の知らせに胸が躍る

7

放課後に廊下をモップでふく

16

ゲーテの劇で主人公が悪魔と契約を結ぶ

15

春の野山に生命が躍動する

14

へビは胴体をくねらせて進む

13

国際社会が核実験の停止を求める

ちゅう1 5かん たんい2 れんしゅう (1)

なまえ



棚

棚

訓

たな

・ 網棚 あみだな
・ 神棚 かみだな
・ 本棚 ほんだな

部首
棚 きへん 12画

鉢

鉢

音

ハチ

・ 小鉢 こばち
・ 植木鉢 うえきばち
・ 火鉢 ひばち

部首
鉢 かねへん 13画

僕

僕

音

ボク

・ 下僕 げぼく
・ 従僕 じゅうぼく
・ 公僕 こうぼく

部首
僕 にんべん 14画

隅

隅

訓

すみ

音

グウ

・ 四隅 よすみ
・ 一隅 いちぐう
・ 片隅 かすみ

部首
隅 こぎとへん 12画



ちゅう15かん たんい2 れんしゅう (2)

なまえ



爆

爆

音

バク

・爆発 ばくはつ
・爆竹 ばくちく
・爆笑 ばくしょう

部首

爆

ひへん

19画

襲

襲

訓

おそ
(う)

音

シュウ

・空襲 くうしゅう
・襲名 しゅうめい
・襲つ おそう

部首

襲

ころも

22画

陶

陶

音

トウ

・陶工 とうこう
・陶芸 とうげい
・陶器 とうき

部首

陶

こざとへん

11画

襟

襟

訓

えり

・詰め襟 つめえり
・襟首 えりくび
・襟元 えりもと

部首

襟

ころもへん

18画



ちゅう15かんたんい2A

なまえ



/ 16

6

漫才で会場が爆笑に包まれる

5

午後の授業中に眠気が襲う

4

公僕としての自覚を持つ

3

教室の片隅に置かれた本棚

2

本棚に文庫本を並べる

1

古民家の火鉢で手を温める

12

大陸棚の海底資源を調べる

11

僕らの世代が社会を変える

10

歌舞伎役者が父の名を襲名する

9

庭の一角に石碑が立つ

8

テーブルに陶器の皿を並べる

7

寒くてコートの襟元を合わせる

16

有田は陶磁器の産地として名高い

15

窓辺で鉢植えのハーブを育てる

14

襟足を短く刈り上げる

13

飛行機の爆音が響く

ちゅう1 5かん たんい2 B

なまえ



/ 16

6

漫才で会場が爆笑に包まれる

5

午後の授業中に眠気が襲う

4

公僕としての自覚を持つ

3

教室の片隅に置かれた本棚

2

本棚に文庫本を並べる

1

古民家の火鉢で手を温める

12

大陸棚の海底資源を調べる

11

僕らの世代が社会を変える

10

歌舞伎役者が父の名を襲名する

9

庭の一角に石碑が立つ

8

テーブルに陶器の皿を並べる

7

寒くてコートの襟元を合わせる

16

有田は陶磁器の産地として名高い

15

窓辺で鉢植えのハーブを育てる

14

襟足を短く刈り上げる

13

飛行機の爆音が響く

ちゅう15かん たんい3 れんしゅう (1)

なまえ



掘

掘

訓

ほ
(る)

音

ク
ツ

採掘 さいくつ
発掘 はっくつ
掘る ほる

部首

掘

てへん

11
画

弾

弾

訓

たま
はず
(む)

音

ひ
ダン

弾む はずむ
弾力 だんりよく
弾く ひく

部首

弾

ゆみへん

12
画

菓

菓

音

カ

洋菓子 ようがし
和菓子 わがし
菓子 かし

部首

菓

くさかんむり

11
画

缶

缶

音

カン

製缶 せいかん
缶詰 かんづめ
空き缶 あきかん

部首

缶

ほとぎ

6
画



ちゅう15かん たんい3 れんしゅう (2)

なまえ



歳

歳

音

セイ サイ

・お歳暮
おせいぼ
・歳末
さいまつ
・歳月
さいげつ

部首

歳

とめる

13画

疎

疎

音

ソ

・疎外
そがい
・疎遠
そえん
・過疎
かそ

部首

疎

ひきへん

12画

抑

抑

訓

音

おさ ヨク
おさ(える)

・抑揚
よくよう
・抑圧
よくあつ
・抑制
よくせい

部首

抑

てへん

7画

双

双

訓

音

ふた ソウ

・双発
そうはつ
・双眼鏡
そうがんきょう
・双方
そうほう

部首

双

また

4画



ちゅう15かんたんい3A

なまえ



/ 17

6

 長い
歳
月
を
か
け
て
橋
が
完
成
し
た

5

 過
疎
の
村
に
苦
者
が
移
住
す
る

4

 来
客
に
菓
子
を
出
す

3

 河
川
敷
で
空
き
缶
を
拾
い
集
め
る

2

 木
を
植
え
る
穴
を
掘
る

1

 演
奏
会
で
バ
イ
オ
リ
ン
を
弾
く

12

 朝
顔
の
双
葉
が
土
か
ら
出
て
き
た

11

 古
代
の
遺
跡
を
発
掘
す
る

10

 久
し
ぶ
り
の
再
会
で
話
が
弾
む

9

 弾
力
の
あ
る
マ
ッ
ト
の
上
で
跳
ぶ

8

 植
物
の
成
長
を
抑
制
す
る
物
質

7

 裁
判
官
が
双
方
の
言
い
分
を
聞
く

17

 お
茶
と
一
緒
に
和
菓
子
を
味
わ
う

16

 キ
ャ
ン
プ
に
缶
切
り
を
持
っ
て
い
く

15

 海
外
の
取
引
先
と
意
思
疎
通
を
図
る

14

 国
の
歳
入
の
多
く
は
税
金
だ

13

 街
灯
の
増
設
が
犯
罪
の
抑
止
に
つ
な
が
る

ちゅう15かんたんい3B

なまえ



/ 17

6

 長い
歳
月
を
か
け
て
橋
が
完
成
し
た

5

 過
疎
の
村
に
苦
者
が
移
住
す
る

4

 来
客
に
菓
子
を
出
す

3

 河
川
敷
で
空
き
缶
を
拾
い
集
め
る

2

 木
を
植
え
る
穴
を
掘
る

1

 演
奏
会
で
バ
イ
オ
リ
ン
を
弾
く

12

 朝
顔
の
双
葉
が
土
か
ら
出
て
き
た

11

 古
代
の
遺
跡
を
発
掘
す
る

10

 久
し
ぶ
り
の
再
会
で
話
が
弾
む

9

 弾
力
の
あ
る
マ
ッ
ト
の
上
で
跳
ぶ

8

 植
物
の
成
長
を
抑
制
す
る
物
質

7

 裁
判
官
が
双
方
の
言
い
分
を
聞
く

17

 お
茶
と
一
緒
に
和
菓
子
を
味
わ
う

16

 キ
ャ
ン
プ
に
缶
切
り
を
持
っ
て
い
く

15

 海
外
の
取
引
先
と
意
思
疎
通
を
図
る

14

 国
の
歳
入
の
多
く
は
税
金
だ

13

 街
灯
の
増
設
が
犯
罪
の
抑
止
に
つ
な
が
る

ちゅう15かん ふりかえり3A

なまえ



/ 24

8

 本棚
に文庫本を並べる

7

 古民家の火鉢
で手を温める

6

読みかけの本にしおりを挟む

5

 原子核
の構造を研究する

4

着物に合わせて足袋を履く

3

 剣道で相手の胴
を打つ

2

 晩年の画家は病魔
と闘い続けた

1

 警報が出て一斉
に下校する

16

 来客に菓子
を出す

15

 河川敷で空き缶
を拾い集める

14

木を植える穴を掘る

13

演奏会でバイオリンを弾く

12

 漫才で会場が爆笑
に包まれる

11

午後の授業中に眠気が襲う

10

 公僕
としての自覚を持つ

9

 教室の片隅
に置かれた本棚

24

 植物の成長を抑制
する物質

23

 裁判官が双方
の言い分を聞く

22

 テーブルに陶器
の皿を並べる

21

 寒くてコートの襟元
を合わせる

20

合格の知らせに胸が躍る

19

 放課後に廊下
をモップでふく

18

 長い歳月
をかけて橋が完成した

17

 過疎
の村に若者が移住する

ちゅう15かん ふりかえり3B

なまえ



/ 24

8

本棚に文庫本を並べる

7

古民家の火鉢で手を温める

6

読みかけの本にしおりを挟む

5

原子核の構造を研究する

4

着物に合わせて足袋を履く

3

剣道で相手の胴を打つ

2

晩年の画家は病魔と闘い続けた

1

警報が出て一斉に下校する

16

来客に菓子を出す

15

河川敷で空き缶を拾い集める

14

木を植える穴を掘る

13

演奏会でバイオリンを弾く

12

漫才で会場が爆笑に包まれる

11

午後の授業中に眠気が襲う

10

公僕としての自覚を持つ

9

教室の片隅に置かれた本棚

24

植物の成長を抑制する物質

23

裁判官が双方の言い分を聞く

22

テーブルに陶器の皿を並べる

21

寒くてコートの襟元を合わせる

20

合格の知らせに胸が躍る

19

放課後に廊下をモップでふく

18

長い歳月をかけて橋が完成した

17

過疎の村に若者が移住する



ちゅう15かん たんい4 れんしゅう (1)

なまえ



溪

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

音

ケイ

・雪溪
せつけい
・溪流
けいりゅう
・溪谷
けいこく

部首

溪

さんずい

11画

戚

9 11 2 3 4 5 6 7 8 10

音

セキ

・縁戚
えんせき
・姻戚
いんせき
・親戚
しんせき

部首

戚

ほこ

11画

覆

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

訓

おお
(う)

音

フク

・覆面
ふくめん
・転覆
てんぷく
・覆う
おおう

部首

覆

にし

18画

桃

2 3 4 5 6 7 8 9 10

訓

も

音

トウ

・桃色
もいろ
・白桃
はくとう
・桃
もも

部首

桃

きへん

10画



ちゅう15かん たんい4 れんしゅう (2)

なまえ



隣

訓

音

となり

とな(る)

リン

・両隣
りょうとなり・隣国
りんこく・隣
となり

部首

隣

こざとへん

16画

渡

訓

音

わた(す)

わた(る)

ト

・渡す
わたす・渡航
とこう・渡る
わたる

部首

渡

さんずい

12画

漠

音

バク

・広漠
こうばく・漠然
ばくぜん・砂漠
さばく

部首

漠

さんずい

13画

麗

音

レイ

・美辞麗句
びじれいく・華麗
かれい・流麗
りゅうれい

部首

麗

しか

19画

ちゅう15かんたんい4A

なまえ

/ 18



6

授業で隣の席の人と話し合う

5

青信号で横断歩道を渡る

4

一面の雪が野山を覆う

3

農家の人が桃に袋ふくろをかける

2

紅葉の溪谷を歩く

1

正月に親戚が集まる

12

バトンを次の走者に渡す

11

海外への渡航が制限される

10

定員を超えた渡し船が転覆する

9

よく熟れた白桃の皮をむく

8

ラクダに乗って砂漠を渡る

7

彼は流麗な文章で知られる

18

流麗なピアノの音色に聞き入る

17

中東の多くの国は砂漠気候に属する

16

溪谷に架かるつり橋を渡る

15

久しぶりに親戚の家を訪ねる

14

両隣の家に挨拶に行く

13

隣国との友好を深める

ちゅう1 5かん たんい4 B

なまえ

/ 18



6

 授業で隣の席の人と話し合う

5

青信号で横断歩道を渡る

4

一面の雪が野山を覆う

3

 農家の人が桃に袋ふくろをかける

2

 紅葉の溪谷を歩く

1

 正月に親戚が集まる

12

バトンを次の走者に渡す

11

 海外への渡航が制限される

10

定員を超えた渡し船が転覆する

9

 よく熟れた白桃の皮をむく

8

 ラクダに乗って砂漠を渡る

7

彼は流麗な文章で知られる

18

流麗なピアノの音色に聞き入る

17

 中東の多くの国は砂漠気候に属する

16

 溪谷に架かるつり橋を渡る

15

 久しぶりに親戚の家を訪ねる

14

 両隣の家に挨拶に行く

13

 隣国との友好を深める

ちゅう15かんたんい5れんしゅう(1)

なまえ



乾

訓

音

かわ かわ カン
(かす) (く)

・ 乾 か かわく
か かわかす
・ 乾 かんき
かん かんき

部首

乾

おつ

11画

含

訓

音

ふく ふく ガン
(める) (む)

・ 含 ふくむ
ふく む
・ 含 がんちく
がん ちく
・ 含 ふくむ
ふく む

部首

含

くち

7画

澄

訓

す す
(ます) (む)

・ 澄 す 澄む
す 澄む
・ 澄 すす
すす 澄ます
・ 澄 うわすみ
うわすみ 澄み

部首

澄

さんずい

15画

慮

音

リヨ

・ 慮 えんりょ
えん りょ
・ 慮 こうりょ
こう りょ
・ 慮 はいりょ
はい りょ

部首

慮

こころ

15画



ちゅう15かん たんい5 れんしゅう (2)

なまえ



杉

杉

訓
すぎ

・杉玉
すぎたま

・杉並木
すぎなみき

・杉林
すぎばやし

部首
杉 きへん 7画

撃

撃

訓
う
(こ)

音
ゲキ

・目撃
もくげき

・攻撃
こうげき

・撃つ
うつ

部首
撃 て 15画

揺

揺

訓
ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ヨウ
(する) (る) (ら) (る) (れる)

・大揺れ
おおゆれ

・横揺れ
よこゆれ

・動揺
どうよう

部首
揺 てへん 12画

喩

喩

音
ユ

・直喩
ちよくゆ

・隱喩
いんゆ

・比喩
ひゆ

部首
喩 くちへん 12画



ちゅう15かんたんい5A

なまえ

/ 18



6

山の斜面に
杉林が広がる

5

戦国時代の兵が鉄砲を撃つ

4

濁っていた池の水が澄む

3

遠慮なく質問してください

2

日なたに干した布団が乾く

1

緑茶はビタミンを多く含む

12

ぬれた服をストープで乾かす

11

乾季にはほとんど雨が降らない

10

参加者の数に先生も含める

9

祖父の言葉には含蓄がある

8

思わぬ質問に動揺する

7

比喩を交えて説明する

18

ゴッホが描いた系杉の絵

17

その発見は定説を揺るがす

16

電車内での通話をご遠慮ください

15

詩の中の暗喩を読み解く

14

白血球がウイルスを攻撃する

13

森の中で鳥の声に耳を澄ます

ちゅう15かんたんい5B

なまえ

/ 18



6

山の斜面に
杉林が広がる

5

戦国時代の兵が鉄砲を撃つ

4

濁っていた池の水が澄む

3

遠慮なく質問してください

2

日なたに干した布団が乾く

1

緑茶はビタミンを多く含む

12

ぬれた服をストープで乾かす

11

乾季にはほとんど雨が降らない

10

参加者の数に先生も含める

9

祖父の言葉には含蓄がある

8

思わぬ質問に動揺する

7

比喩を交えて説明する

18

ゴッホが描いた系杉の絵

17

その発見は定説を揺るがす

16

電車内での通話をご遠慮ください

15

詩の中の暗喩を読み解く

14

白血球がウイルスを攻撃する

13

森の中で鳥の声に耳を澄ます

ちゅう15かんたんい6れんしゅう(1)

なまえ



押

押

訓

お
(さえる)お
(す)・
押し
入れ・
押さ
える・
押す

部首

押

てへん

8
画

棺

棺

音

カン

・
石棺
せつかん・
納棺
のうかん・
出棺
しゅつかん

部首

棺

きへん

12
画

塾

塾

音

ジ
ユ
ク・
入塾
にゅうじゅく・
塾生
じゅくせい・
私塾
しじゅく

部首

塾

つち

14
画

俺

俺

訓

おれ

・
俺たち
おれたち・
俺様
おれさま・
俺流
おれりゅう

部首

俺

にんべん

10
画



ちゅう15かんたんい6れんしゅう(2)

なまえ



暇

訓	音
ひま	カ
・余暇 余暇	・休暇 休暇
・暇 暇	
部首	画
暇	13

輩

音	
ハイ	
・輩出 輩出	・後輩 後輩
	・先輩 先輩
部首	画
輩	15

削

訓	音
けず	サク
(る)	
・削減 削減	・削除 削除
	・削る 削る
部首	画
削	9

恥

訓	音
は	チ
(ずかしい)	(じる)
・恥辱 恥辱	・赤恥 赤恥
	・恥 恥
部首	画
恥	10



ちゅう15かんたんい6A

なまえ



/ 16

6

週末は暇なので図書館に行く

5

部活の先輩に挨拶する

4

江戸時代の私塾で若者が学ぶ

3

監督は俺流の采配を貫く

2

インターホンのボタンを押す

1

参列者が出棺を見送る

12

荒削りだが才能のある新人

11

俺たちの夏はまだ終わらない

10

夏の休暇に旅行する

9

風で飛ばないように紙を押さえる

8

かなで板を削る

7

旅の取はかき捨て

16

若輩の身で会長の大役を任される

15

映画で納棺師の仕事を知る

14

約束を平気で破るとは恥知らずだ

13

難関校を目指して進学塾に入る

ちゅう15かんたんい6B

なまえ



/ 16

6

週末は暇なので図書館に行く

5

部活の先輩に挨拶する

4

江戸時代の私塾で若者が学ぶ

3

監督は俺流の采配を貫く

2

インターホンのボタンを押す

1

参加者が出棺を見送る

12

荒削りだが才能のある新人

11

俺たちの夏はまだ終わらない

10

夏の休暇に旅行する

9

風で飛ばないように紙を押さえる

8

かなで板を削る

7

旅の取はかき捨て

16

若輩の身で会長の大役を任される

15

映画で納棺師の仕事を知る

14

約束を平気で破るとは恥知らずだ

13

難関校を目指して進学塾に入る

ちゅう15かん ふりかえり6A

なまえ

/ 24



8

河川敷で空気を缶を拾い集める

7

演奏会でバイオリンを弾く

6

午後の授業中に眠気が襲う

5

教室の片隅に置かれた本棚

4

古民家の火鉢で手を温める

3

原子核の構造を研究する

2

剣道で相手の胴を打つ

1

警報が出て一斉に下校する

16

参加者が出棺を見送る

15

戦国時代の兵が鉄砲を撃つ

14

遠慮なく質問してください

13

緑茶はビタミンを多く含む

12

青信号で横断歩道を渡る

11

農家の人が桃に袋をかける

10

正月に親戚が集まる

9

過疎の村に若者が移住する

24

旅の恥はかき捨て

23

比喩を交えて説明する

22

彼は流麗な文章で知られる

21

裁判官が双方の言い分を聞く

20

寒くてコートの襟元を合わせる

19

放課後に廊下をモップでふく

18

部活の先輩に挨拶する

17

監督は俺流の采配を貫く

ちゅう15かん ふりかえり6B

なまえ

/ 24



8

来客に菓
子を出す

7

木を植える穴を掘
る

6

漫才で会場が爆
笑に包まれる

5

公僕としての自覚を持つ

4

本棚に文庫本を並べる

3

読みかけの本にしおりを挟
む

2

着物に合わせて足袋を履
く

1

晩年の画家は病
魔と闘い続けた

16

インターホンのボタンを押
す

15

山の斜面に杉
林が広がる

14

濁っていた池の水が澄
む

13

日なたに干した布団が乾
く

12

授業で隣の席の人と話し合
う

11

一面の雪が野山を覆
う

10

紅葉の溪谷を歩
く

9

長い歳月をかけて橋が完成した

24

かんなど板を削
る

23

思わぬ質問に動
揺する

22

ラクダに乗って砂漠を渡
る

21

植物の成長を抑制する物質

20

テーブルに陶器の皿を並べ
る

19

合格の知らせに胸が躍
る

18

週末は暇なので図書館に行
く

17

江戸時代の私塾で苦者が学
ぶ

ちゅう15かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18



6

挟

部首

5

核

部首

4

履

部首

3

胴

部首

2

魔

部首

1

斉

部首

12

爆

部首

11

襲

部首

10

僕

部首

9

隅

部首

8

棚

部首

7

鉢

部首

18

歳

部首

17

疎

部首

16

菓

部首

15

缶

部首

14

掘

部首

13

弾

部首

ちゅう15かん かん字のしくみ 2

なまえ



/ 18

6

隣

部首

5

渡

部首

4

覆

部首

3

桃

部首

2

溪

部首

1

戚

部首

12

杉

部首

11

撃

部首

10

澄

部首

9

慮

部首

8

乾

部首

7

含

部首

18

暇

部首

17

輩

部首

16

塾

部首

15

俺

部首

14

押

部首

13

棺

部首